



園だより5月号

平成30年度
福)五和会
五和保育園



裏山に、よきによきと伸びたタケノコを子どもたちが毎日のように掘ってくれました。そのタケノコは、給食に毎日のように入り沢山いただきました。天気恵まれ、園庭での外遊びも多くでき、新しい環境の保育園生活にだんだん慣れてきたのではないのでしょうか。

さて、毎日のように発行されるクラスからのお便りはいかがでしょうか。そのお便りを「家での会話のきっかけ」にするとともに、担任との「会話のきっかけ」にして担任と仲良くなってくださいね。



《子育てポイント》 = ゴールデンウィークの親子のお楽しみの後で =

ただ「楽しかったね」ではなく「ママとパパと一緒に、楽しかったね」と「誰と一緒に」を「強調」「意識化」してアピールすることが大切！！

この連休、皆さんのお宅もあちらこちらにお出かけしたり、家族で楽しむ時間を取られたりする機会が増えることと思います。そこで一つ提案です。楽しい経験の後の会話に

「ママね、〇〇ちゃんと一緒にいって楽しかったよ！」

「メリーゴーランド、お母さんと一緒に回ってワクワクしたね！」

「パパ、〇〇と一緒にゲームして楽しかった」

と、一緒に楽しいを共有したことを「強調」することが大切です。

この考え方は、「愛情の器」(米沢好史著)という本に書かれています。この「愛情の器」は、子どもに生まれもって備わっているものではないのです。親や保育士など子どもと関わる大人と一緒に作らなければならないものです。愛情を受け取るのが下手な子、発信するのが下手な子もいるのです。

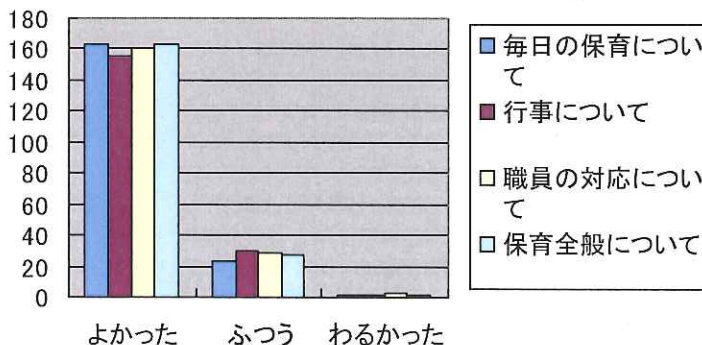
子どもとディズニーランドに行ったとします。子どもの為に、子どもと楽しい思い出を作る為に行ったと大人は思っている、子どもの心は案外そんなことではなく「ミッキーやミニーのキャラクターの可愛さ」だったり「いろいろな乗り物のすごさ」がインプットされて「親と一緒に」の意識化はほとんどないようです。また、親は子どもにとってその素敵な世界に連れて行ってくれる「手段」と思われ、「連れていけ」「買ってくれ」と駄々をこねられる羽目に陥るのです。

ただ楽しい経験をするのでは、親の真意は伝わりません。「誰と一緒にだから」「どんないい気持ちになったのか」を意識的に子どもに語ることで「愛情の器」もだんだん出来上がっていくのです。

ぜひ、試して「愛情の器」作りをしていって下さいね。



平成29年度 保育アンケート結果



3月の末に突然のメールでのアンケートにも関わらず、沢山の方にご協力していただきありがとうございました。このような形でのアンケートでしたので、詳しく聞くこともできず、また「悪かった」と答えてくださった方に「どんなところが」と聞くこともできず申し訳ないと思っております。平成30年度も、子どもたちの為に前進していきたいと思っておりますので、忌憚のないご意見をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。



5月の行事



1	火		
2	水	お茶感謝祭 牧之原公園 (雨天:夢づくり会館)	年長児の女の子達が今度はお茶感謝祭に出演します。かわいい豆茶姿を是非見に来てください。
3	木	↑ 茶期保育 ↓	
4	金		
5	土		
6	日		
7	月	子どもの日を祝う会 年長午睡開始	子どもの日の由来のお話を聞いたり、こいのぼりくぐりをしたりして楽しめます。
8	火	音楽教室(中)	
9	水	AM安田式遊具搬入	
10	木		
11	金		
12	土	奉仕作業(年少)樹木消毒	
13	日	奉仕作業予備日	
14	月	9:00~歯科検診	年に一度の歯科検診です。しっかり歯磨きをしてきてください。休まないようにお願いします。
15	火	体操教室(中長) 金中職場体験(~17日)	
16	水	お話宅急便(年中)	
17	木		
18	金		
19	土	AM親子遠足・夜PTA懇親会(百姓屋)	各年齢ごとの企画となります。親子でいることを楽しんでくださいね。
20	日		
21	月		
22	火	音楽教室(年長)書き方教室(長)	
23	水		
24	木	PTA5役会	
25	金		
26	土	AM:AED講習会	全職員でAEDの操作、救急の対応、嘔吐処理について学びます。
27	日		
28	月		
29	火	体操教室(中長)	
30	水		
31	木		